

公共事業環境配慮書

<b>事業名称</b>		
事業名	西天竜発電所大規模改修事業	
整理番号	28-5	
事業の種類	水力発電所の建設	
市町村名	伊那市	
箇所名	小沢	
事業年度	平成28～31年度	
<b>事業概要</b>		
目的	西天竜発電所の老朽化による設備更新	
計画概要(延長・幅員・面積・工種など)	発電出力2,860kW 発電所建屋面積B16.0m×W26.4m 水圧管φ 1.8m、L=166.28m 屋外変電設備更新工 小沢川取水施設撤去工	
関連する事業計画	特になし	
その他特記事項	特になし	
<b>関係法令等の規制</b>		
自然環境保全地域等の指定状況	なし	
土地利用規制の状況	河川法の河川区域または河川保全区域 文化財保護法の周知の埋蔵文化財包蔵地 月見松遺跡	
その他	なし	
<b>社会的要素</b> <span style="float: right;"><b>留意すべき地域の概況</b></span>		
交通の現況	・発電所前の道路は、県道443号線(内ノ萱伊那線)である。 ・発電所前の道路の交通量は500台/日未満である。	
土地利用の現況	市街地である	
生活関連施設の現況	周辺に住居が集合している	
その他	特になし	
<b>自然的環境要素</b> <span style="float: right;"><b>環境配慮の方針</b></span>		
大気環境	留意すべき地域の概況	生活関連施設がある
	<b>【大気汚染の防止】</b>	
	・交通流の円滑化により大気汚染、騒音、振動の発生を防止する。	
	・土砂表層の散水や道路の散水、車両や機械の清掃等を行い粉じんの飛散を防止する。	
	・排出ガス対策型の車両や建設機械を採用する。	
水環境	<b>【騒音、振動の防止】</b>	
	・夜間・早朝の資材運搬及び機械の稼働を出来るだけ避ける。	
	・著しい騒音、振動を発生する工法を避ける。	
	・低騒音・低振動型の建設機械を採用する。	
	留意すべき地域の概況	河川・湖沼がある
<b>【水質汚濁の防止】</b>		
・沈砂池・沈澱池や濁水処理装置等を設置し、濁水や油脂類の排水を避ける。		
・工事仮設事務所からの生活雑排水を適正に処理する。		
<b>【水循環の保全】</b>		
・掘削や地下水構造物の設置等により地下水の流動を阻害しないように努める。		
・河川においては下流域の環境の保全のため、正常な流量を確保する。		
地形・地質	留意すべき地域の概況	特になし
	<b>【改変面積の最小化】</b>	
	・地形の改変の少ない位置・ルート・工法を選定する。	
	・段階的に工事を行い、広範囲な裸地の出現を防止する。	
	・工事施工ヤードの設置は必要最小限の面積とする。	
・法面の勾配の検討、適切な崩壊防止工法の選定、排水工、緑化工等により、崩壊その他の危険性を防止する。		

野生動植物	留意すべき地域の概況	アマゴ等が生息する可能性がある。
	<b>【自然環境の保全上重要な地域の改変の回避】</b>	
	・希少野生動植物(アマゴ等)が確認された場合には、適切な保全対策を施す。	
	<b>【野生動植物の生息・生育空間の保全】</b>	
	・動物の移動経路の分断を出来るだけ避ける又は新たな移動経路を確保する。 ・河川工事(取水施設撤去)にあたっては、濁水が河川に流れないように配慮する。	
景観	留意すべき地域の概況	特になし
	<b>【すぐれた景観の保全】</b>	
	・工事箇所の整理整頓・美化に努め、仮施設や資材置き場は目立ちにくい配置にする。 ・伊那市景観計画に配慮し、すぐれた景観を保全する。	
	<b>【動物の繁殖期における影響の低減】</b>	
	・重要な動物等の繁殖期、産卵期の工事を出来るだけ避ける。	
文化財等	留意すべき地域の概況	周知の埋蔵文化財包蔵地がある
	<b>【文化財等への配慮】</b>	
	・原則として史跡・名勝・天然記念物の指定地内への立地は避ける。また、史跡等の周辺や埋蔵文化財を包蔵する可能性の高い土地への立地を出来るだけ避ける。 ・小沢川導水路撤去及び関連施設について、引き続き協議を実施し文化財保護等に配慮する。	
廃棄物・建設残土	<b>【建設廃棄物や建設残土の発生抑制】</b>	
	・建設副産物の発生と抑制する施設配置、線形、工法、資材などの採用に努める。 ・建設廃棄物や建設残土の適正処理を行う。	
	<b>【建設廃棄物や建設残土のリサイクル】</b>	
	・現場発生材の原位置リサイクル等、建設廃棄物や建設残土のリサイクルを推進する。	
	<b>【資源の有効利用】</b>	
省資源・省エネルギー・温室効果ガス	<b>【環境への負荷の少ない機械の利用等】</b>	
	・低燃費型建設機械や省エネ機構搭載型建設機械を積極的に使用する。 ・アイドルストップ、エンジン回転数の抑制等機械の省エネ運転に努める。 ・点検整備を行い適正な燃費消費率を維持する。	
	<b>【エネルギーの有効利用】</b>	
	・施設の建設にあたっては温室効果ガス削減に努めた計画とする。 ・LED照明、節水機器等の省エネルギー設備の導入に努める。 ・建築物の断熱化に努める。	

番号	項目	環境部長の意見内容	事業部局の見解
1	野生動植物	県版レッドリストで準絶滅危惧のアマゴ等が生息する可能性があるため、取水設備の工事にあたっては濁水が河川に流れ込まないように配慮してください。	小沢川取水施設の撤去工事(河川工事)については、施工時期及び濁水等の流出防止に配慮し事業推進に努めます。
2	野生動植物	河岸段丘崖の工事であるため、移動経路の分断を出来るだけ避けるなど生息又は移動する動物に対し配慮してください。	事業実施にあたっては野生動物に配慮し、希少野生動物が確認された場合は、適切な保全対策を講じます。
3	廃棄物・建設残土	建設副産物の発生を抑制する施設配置、線形、工法、資材などの採用に努めてください。	建設副産物を極力発生させない事業計画及び事業実施に努めます。また、建設副産物については現位置リサイクルに努めるとともに適切な処理を行います。